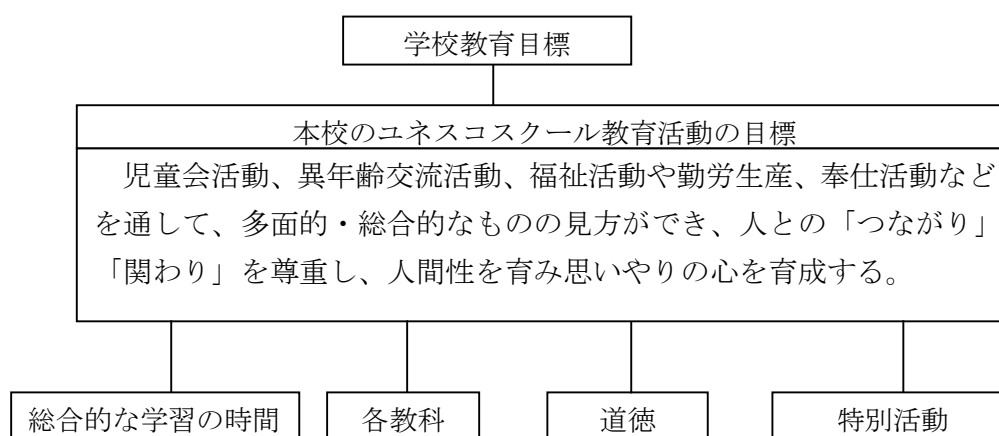


## 平成31年度 ユネスコスクール教育活動について

### 1 ユネスコスクール教育活動の目標

児童会活動、異年齢交流活動、福祉活動や勤労生産、奉仕活動などを通して、多面的・総合的なものの見方ができ、人との「つながり」「関わり」を尊重し、人間性を育み思いやりの心を育成する。（資料1参照）

### 2 全体計画



### 3 指導の重点

- (1) 総合的な学習の時間、教科、道徳、特別活動等の時間の中で、伝統芸能・国際理解・福祉・環境教育を総合的に扱い、それらの活動内容に関心をもち、進んで取り組もうとする心を育む。
- (2) 諸活動の中で、児童だけでなく教師もその体験活動を分かち合う。

### 4 活動計画

- ・ 取り組みの基盤は、「東小学校ユネスコカレンダー2019」とする。
- ・ クラブ活動において、和太鼓演奏を通して伝統芸能に関わること、手話ムービークラブで手話学習や福祉の心を育むことを実践する。
- ・ ユネスコ委員会及び児童会を中心に「福祉交流会」を開催し、高齢者と交流する。
- ・ 総合的な学習の時間の中で、3年生「ざい踊り」、4年生「環境教育」、5年生「食」、6年生「国際理解」を学習して深め、学習発表会などで発表する。
- ・ 福祉については、全学年で扱う。（総合的な学習の時間の提案を参照）
- ・ 生活科の授業で、1年生「介助犬」について知る。
- ・ 児童会行事などで、異文化交流の基本となる日本文化の理解を深める。
- ・ 国際交流を視野に入れて活動計画の検討を進める。

### 5 活動報告

- ・ 「東小学校ユネスコカレンダー2019」に記載された活動、および新しく取り組んだ活動については実践後、年度末までに係に報告。

### 6 その他

平成26年度以降の活動資料は、職員室東南カラーBOX内に保管してある。

## 資料1

### 1 ユネスコとは

ユネスコ（国際連合教育科学文化機関、United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization U.N.E.S.C.O.）は、諸国民の教育、科学、文化の協力と交流を通じて、国際平和と人類の福祉の促進を目的とした国際連合の専門機関である。

（ユネスコ憲章前文より） 【目的及び任務…憲章第1条参照】

### 2 ESDの基本理念

現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む（think globally, act locally）ことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動である。

### 3 ユネスコスクールの活動目的

- ユネスコスクール・ネットワークの活用による世界中の学校と生徒間・教師間の交流を通じて、情報や体験を分かち合うこと。
- 地球規模の諸問題に若者が対処できるような新しい教育内容や手法の開発、発展を目指すこと。

参照

文部科学省日本ユネスコ国内委員会ホームページ

<http://www.mext.go.jp/unesco/004/1339976.htm>

### 4 ユネスコスクールに求められること

- ・ 法的拘束や義務はありませんが、積極的な活動が求められる。
- ・ 年に一度、日本ユネスコ国内委員会に報告書の提出が必要である。
- ・ ユネスコが提案する教材が送られ、教育現場での実験・評価を依頼されることがある。
- ・ ユネスコから年に数回、世界のユネスコスクールの活動報告が記載されている情報誌が、送付されるとともに、ユネスコが行う様々な活動に参加する機会がある。

参照

ACCU 「ユネスコスクールへようこそ」

<http://www.unesco-school.jp/>



ESDの概念図